

カーボンニュートラルの取り組み（2024 - 2026年度 環境行動計画）

2024年7月25日

井原精機株式会社

区分	取り組み項目	具体的な実施項目	Scope			目標（2026年度）・実施事項	SDGs 合致項目		
			1	2	3				
低炭素社会の構築	生産・物流活動におけるCO <sub>2</sub> 排出量の削減	日常改善活動によるCO <sub>2</sub> 排出量の削減	1	生産性向上（工場 直接作業）		○	+11.0%（23年度比）	  	
			2	生産性向上（工場 間接作業）		○	+9.0%（23年度比）		
			3	生産性向上（本社部門・技術部 間接作業）		○	+9.7%（23年度比）		
			4	ニアネットシェイプの追及による材料削減		○	○		244.8t-CO <sub>2</sub> （材料120t）（23年度比）
			5	加工不良の削減（不良率）		○	○		-56.0%（23年度比）
			6	材料不良の削減（総社工場）（不良率）		○	○		-30.0%（23年度比）
			7	環境にやさしい設備の導入	○	○	○		CO <sub>2</sub> 排出量の少ない設備や、製造時CO <sub>2</sub> 排出量の少ない設備の導入
			8	環境負荷を低減する工法の導入	○	○	○		工程削減やからくり改善、新工法等による継続的なCO <sub>2</sub> 排出量の削減
			9	不要電気の削減（こまめな電源OFF等）		○			人（不要時の電源OFF等）・しくみ（センサー導入等）両面での削減
			10	油脂類の使用量削減			○		切削液の長寿命化による使用量削減や、再利用化。環境影響の少ない油脂の利用拡大
			11	ペーパーレス化の推進（A4換算購入量）			○		-30.0%（23年度比）
			12	物流効率の向上（社内外）			○		積載効率の向上や工場間輸送の減便などを実施
技術製品	環境にやさしい製品への取り組み	電動化製品の受注拡大	13	電動化製品への技術的アプローチ		○	電動化に対応した新技術の取得やノウハウの蓄積	  	
			14	電動化製品の受注活動強化		○	顧客設計部門への技術提案による受注拡大		
循環型社会の構築	資源の有効利用	発生源対策による材料使用量削減	15	ニアネットシェイプの追及による材料削減		○	○	244.8t-CO <sub>2</sub> （材料120t）（23年度比）	 
			16	加工不良の削減（不良率）		○	○	-56.0%（23年度比）	
			17	材料不良の削減（総社工場）（不良率）		○	○	-30.0%（23年度比）	
			18	刃具類の再利用			○	再研磨を拡大し廃棄する刃具数を削減	
	廃棄物の削減	19	梱包資材の再利用			○	再利用が容易な梱包資材への転換等、梱包材のリユース・リサイクル推進		
		20	梱包資材の軽量化			○	梱包資材の薄肉化・コンパクト化や廃止		
		21	廃棄物（産業・一般）の削減			○	-20.0%（23年度比）		
		22	水資源（上水・工業用水・地下水）の使用量削減			○	-20.0%（23年度比）		
環境マネジメント	環境経営	カーボンニュートラル経営の推進	25	CO <sub>2</sub> 排出量削減を重視した投資・経営判断	○	○	○	CO <sub>2</sub> 排出量を重視した設備投資、輸送業者選定等の判断	  
			26	再生可能エネルギーの導入		○		太陽光発電の導入（24年度：2工場に計約340kWの太陽光発電を設置予定）	
		社内におけるカーボンニュートラル機運の醸成	27	環境教育活動の推進	○	○	○	SDGs月間の創設・運用。カードゲーム等を通じた意識向上活動の推進	
	28		環境情報の発信	○	○	○	全員昼礼、SDGs専用掲示板、ホームページ等を通じた活動の発信		
	地域環境の維持及び改善、コミュニケーションの構築	環境問題の未然防止と法令順守	29	日常管理業務の強化				法令変更への確実な対応。世界的動向を注視した活動の展開	
			30	油脂類の社外流出防止や騒音値の継続的低減				周辺住民からの苦情ゼロの継続。ヒアリング等の継続実施	
		地域住民との良好な関係の構築	31	事業所周辺の環境保全活動の推進				周辺清掃活動（アダプト活動）の継続。地元自治体等と連携したCN活動の展開	
			32	環境問題の防止と地域とのコミュニケーション				周辺住民からの苦情ゼロの継続。ヒアリング等の継続実施	
		ブランド力の向上	33	環境情報の積極的な開示				ホームページ等を通じたSDGs関連情報の積極的な発信	